

礼儀で世界を割る勇者

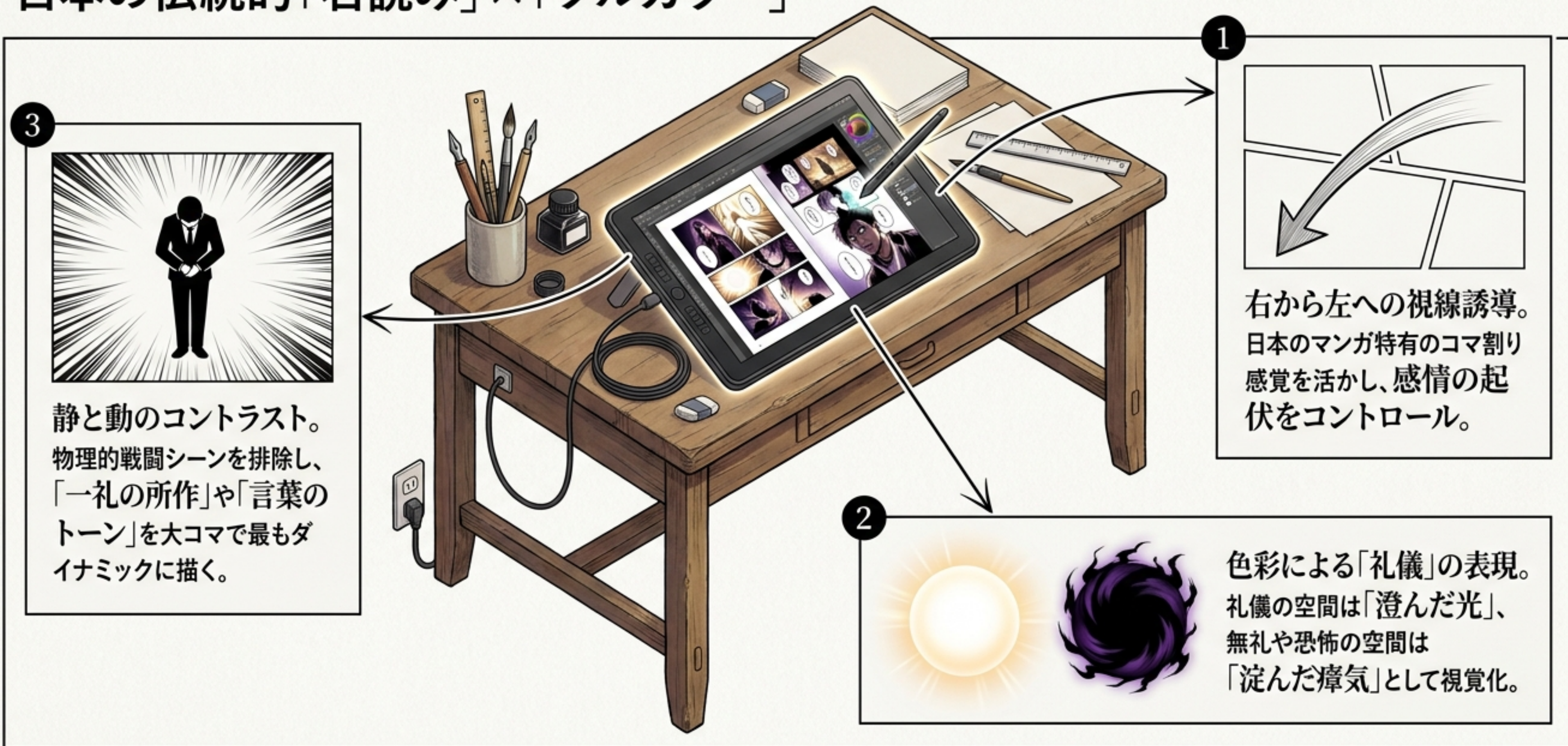
フルカラー・右読みマンガ 企画構成案



剣と魔法の世界を、「マナー」と「対話」で攻略する新感覚・異世界ファンタジー。

本作の表現アプローチ： 日本の伝統的「右読み」×「フルカラー」

[← 右から左へお読みください]



主人公：改田 礼二 (Kaida Reiji)

[← 右から左へお読みください]



従来型ファンタジーとの構造比較：異世界のパラダイムシフト

	 従来 of 勇者	 改田礼二
初期装備	聖剣・チート能力 	正しい姿勢・丁寧な言葉遣い 
敵へのアプローチ	物理的破壊・討伐 	対話・理由のヒアリング 
仲間との関係	リーダーとして君臨 	歩調を合わせる同行者 
世界の救い方	恐怖（魔王）の排除 	恐怖の根源の「理解と約束」 

本作は物理的カタルシスではなく、精神的な「和解のカタルシス」を提供する。

第1幕：無礼な世界への絶望と、礼儀の神からの導き

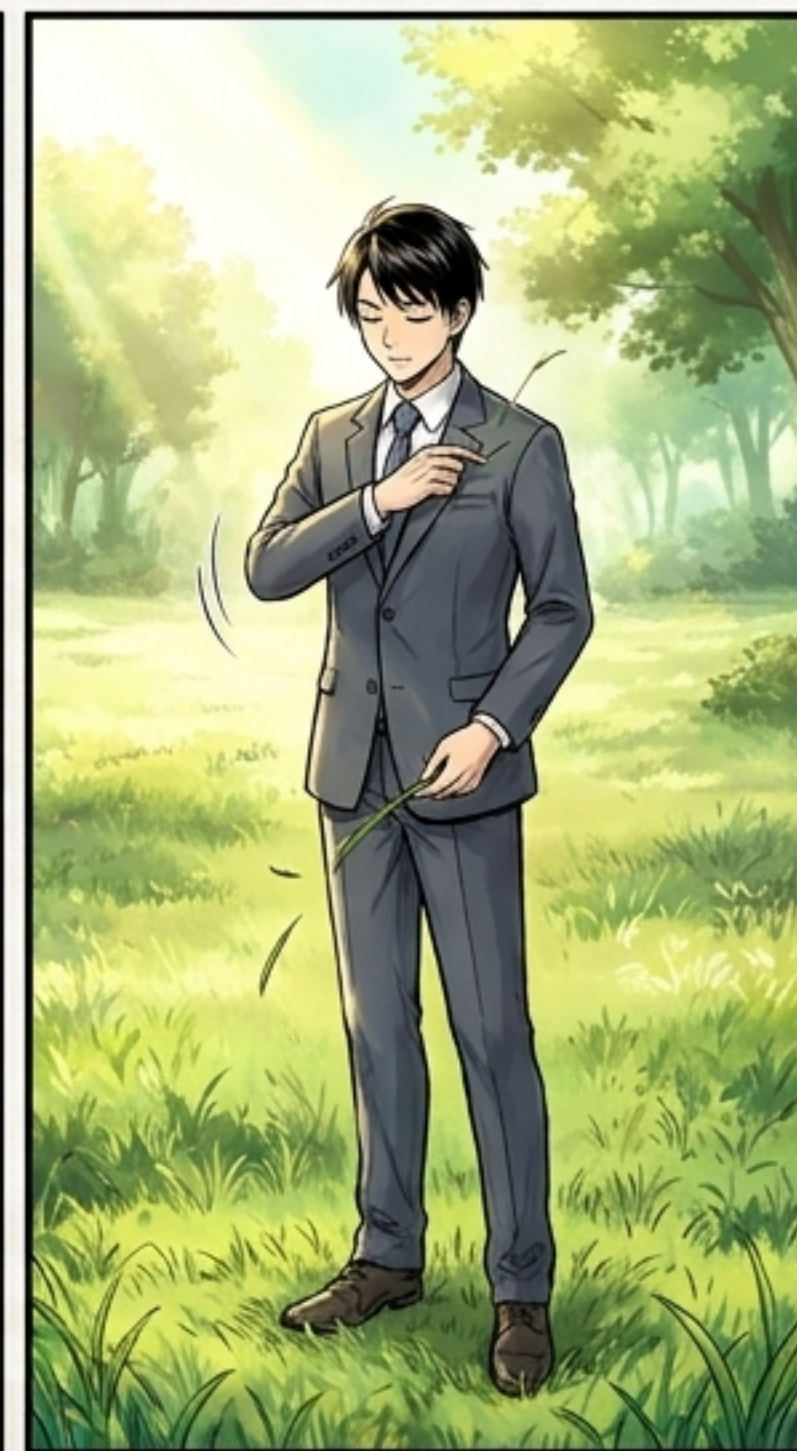


Director's Note

恐怖や混乱の最中でも「緊急時こそ基本を守る」という礼二の異常性を、フルカラーの美しい光と共にコミカルに描く。

第2幕：圧倒的「丁寧」によるペース掌握

[← 右から左へお読みください]



相手の雑な態度に対し、礼二が丁寧になればなるほど、ファンタジー世界の住人たちが「タジタジになる」ギャップを演出する。

概念図解：「無礼」という名の鎧

[← 右から左へお読みください]

守りたいもの

無礼・恐怖

礼儀

防衛本能の解除

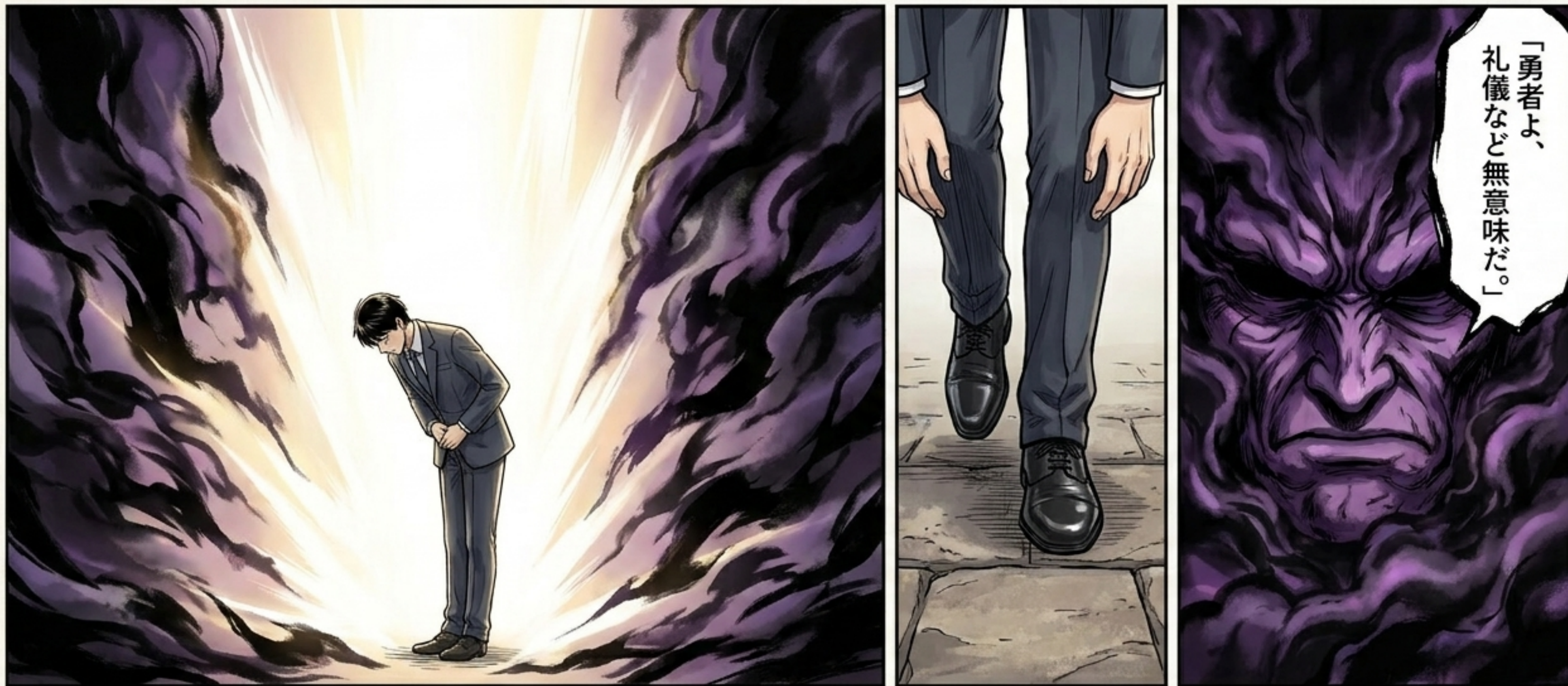
物理的な破壊(剣)

「支配しないと壊れるから、
壊れないようにしてきた」

無礼とは単なる怠慢ではなく、「傷を隠すための防衛本能」である。
礼二は物理的破壊(剣)ではなく、防衛本能そのものを解除するアプローチ(礼儀)を取る。

第3幕：剣を抜かず、心を畳む「一礼」

[← 右から左へお読みください]



バトルマンガの「必殺技」見開きページに該当。最高の作画コストを「お辞儀」にかけ、礼儀が衝撃波のように魔王の空間を切り裂く様子を表現する。

勝利のロジック：「返事の居場所」

[← 右から左へお読みください]



「礼儀は、相手の心の中に
『返事の居場所』を作ります。
居場所ができれば、人は暴れません。」

相手を力でねじ伏せる（支配）のではなく、言葉で結びつく（約束）。
魔王自身が「恐怖という鎖」に縛られていたことを解き放つ、本作のテーマ的ハイライト。

第4幕：正義ではなく「相手を見捨てない選択」

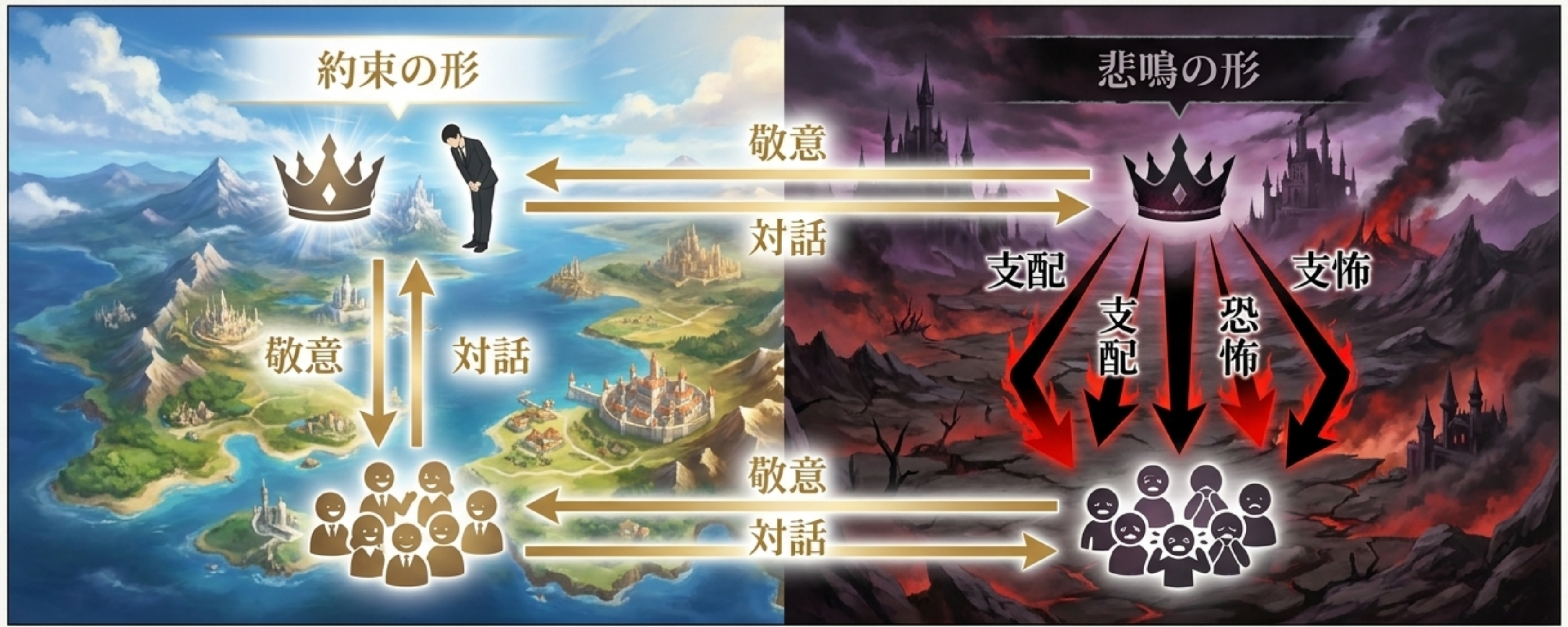
← 右から左へお読みください



魔王が頭を下げるという異常な光景が、恐怖で固まっていた世界を溶かす。
暴力による制圧ではなく、相互理解の伝播を描く。

礼儀がもたらした世界の再構築

[← 右から左へお読みください]



「召喚」から始まった旅は、魔王を討伐することなく、通訳としての役割を果たし、世界中に「敬意」を再インストールすることでクリア条件を満たした。

「今日より、明日がもっと暮らしやすくなるように」



この物語は、単なる異世界転生ファンタジーではない。

現代社会で私たちが忘れかけている「相手を想う手前の行い(礼儀)」が、
いかにして最強の武器となり、世界を救うかを描くアンチテーゼである。

さあ、礼儀という刃で、新しい世界を開きませんか。

【END / 読了】